

## 新美術館の展示と収集および現美術館の収蔵作品について

## ○新美術館の展示と収集について(検討中)

※詳細は「新福岡県立美術館基本計画」も参照

## &lt;展示について&gt;

- コレクション展示では、新県立美術館が有する収蔵品を分かりやすく、魅力的に紹介する。
- 特別展示では、本県や九州の美術を詳しく紹介する展覧会、国宝・重要文化財をはじめ国内外の名作が堪能できる展覧会、新しい美術表現を紹介する展覧会、親子で楽しむことができる展覧会、来館者が参加できる展覧会など、世代を超えて県民の関心と興味に応えることができる多彩な展覧会を開催する。
- 国内外の先端的なアートシーンやデジタル技術を駆使した作品を体験できる展示や、斬新な方法やテーマで構成された展示など革新性に富んだ展覧会に取り組む。

## &lt;収集について&gt;

- 福岡県ゆかりの著名作家をはじめ、福岡県の美術風土形成の一翼を担ってきた作家の作品を収集
- 九州の作家や九州における福岡県の美術の特徴を捉えるうえで重要な作家の作品を収集
- 九州や世界のなかで福岡県の美術を捉える視点において有益な国内外の作品を収集
- 近代工芸やプロダクトデザインなど生活にかかわる作品や、福岡県の炭鉱や地場産業、都市文化にかかわる作品など、生活や社会を表象する作品を収集
- 歴史的に意義ある貴重な作品を収集

## ○福岡県立美術館の収蔵作品について (「令和3年度福岡県立美術館年報」より)

3,217 件(約1万点)

区分	主な作品	件数
日本画	富田溪仙《沈竈・容膝》、水上泰生《群鯉二態》	249
洋画 (水彩画・素描等も含む)	坂本繁二郎《能面》、古賀春江《窓》、児島善三郎《蓮花》、高島野十郎《蠟燭》、野見山暁治《蔵王》、菊畑茂久馬《天動説 六》	2,197
彫刻	富永朝堂《天の御柱》、豊福知徳《光の探求 '89- I》	189
工芸 (プロダクトデザイン等含む)	松枝玉記《久留米絁着物「献穀」》、小川善三郎《献上博多織 五献立八寸名古屋帯》、鹿児島寿蔵《紙塑人形「卑弥呼」》、柿右衛門様式《色絵唐草龍文陶板》	361
そのほか	尾形家絵画資料、片山攝三《白樺派三人》【写真】、江上計太《OTHER HALF NO.2》	221
	計	3,217 (約1万点)

※黒田藩の御用絵師一門であった尾形家から福岡県に寄贈された5000点近い粉本や古文書、本画などを尾形家絵画資料 1 件とするなど、資料等では複数点数を 1 件として一括登録している事例がある。

## 【参考1】最大の作品サイズ (cm)

区分	作家名	作品名	制作年	形状等	1点のサイズ(H×W)	展示に必要な壁面
日本画	吉嗣拜山	山水図	1904	六曲一双屏風	173.6×460.0	200.0×900.0
日本画	富田溪仙	沈竈・容膝	1913	対幅	271.0×107.0	400.0×300.0
洋画	菊畑茂久馬	天動説 六	1983		260.0×194.0	400.0×300.0
洋画	藤田吉香	蓮池荷風	1974	(3パーツ)	162.2×391.5	200.0×500.0
彫刻	豊福知徳	光の探求 '89- I	1989	木	H207×W315×D40	
彫刻	豊福知徳	円柱 I	1965	木	H300×40.5(底最大径)	

【参考2】福岡県立美術館所蔵品検索システム <https://jmapps.ne.jp/fma/>